

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
大	事業	001	環境衛生事業	中	事業	01	環境衛生事務事業		
小	事業								他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令					
根拠例規	有	公衆浴場基準条例			
関連計画・マニュアル					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 公衆浴場法に該当する施設営業者への設備補修経費の補助により公衆浴場の運営を支援し、地域住民の公衆衛生の向上に資する。

【事業の概要】
 ○補助金 549千円
 公衆浴場設備整備事業費補助金（サウナ修理、屋根補修等）

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	549	0	712	549
人件費	3,824	2,006	2,452	1,818
総事業費	4,373	2,006	3,164	2,367
人員				
正職員	0.57 人	0.30 人	0.35 人	0.27 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.57 人	0.30 人	0.35 人	0.27 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般財源	4,373	2,006	3,164	2,367

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	軒	目標	1	1	1	1	1
			実績		1	0	1	1
			達成率(%)	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進につながり、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図りました。							

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>課題はない</p>		
<p>この事業は県の補助事業に該当するものに対して実施しており、設備の改修等は公衆浴場の経営及び衛生上不可欠です。</p>			
<p>成果と改善点</p>	<p>公衆浴場の経営に必要な修繕について補助を行いました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>	<p>公衆浴場の改修等にかかる費用のうち、県の補助制度と同比率の3分の1にかかる費用を補助していきます。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
大事業	101	動物保護・愛護事業			中事業	01	狂犬病予防事業		
小事業	01	狂犬病予防接種事業							他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	狂犬病予防法			
根拠例規	有	坂井市狂犬病予防法の施行に関する規則			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
県から事務委任されている畜犬登録、狂犬病予防注射済票の交付等事務を通じて狂犬病の発生と蔓延の防止を図る。

【事業の概要】

畜犬登録及び狂犬病予防接種

・発行数

鑑札 365 件

注射済証 3,356 件

○報償費

犬のメモリアル給付金 (104件) 312 千円

○需用費

事務用消耗品費 (鑑札、注射済票他) 136 千円

○役務費

通信運搬費 (集合注射案内郵便料) 240 千円

○委託料

犬の登録事務等委託料 2,517 千円

犬猫等動物死体処理委託料 803 千円

1,714 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	3,205	3,825	3,873	△ 620
	人件費	4,830	7,888	8,619	△ 3,059
	総事業費	8,035	11,713	12,492	△ 3,679
人員	正職員	0.72 人	1.18 人	1.23 人	△ 0.46 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.72 人	1.18 人	1.23 人	△ 0.46 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	2,909	2,895	3,433	14
	一般財源	5,126	8,818	9,059	△ 3,693

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	%	目標	70	70	70	70	70
			実績		75	77	75	69
			達成率(%)	0.0	107.1	110.0	107.4	98.3
指標の説明								
指標	独自指標	件	目標	350	350	350	350	350
			実績		344	356	508	236
			達成率(%)	0.0	98.3	101.7	145.1	67.4
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	狂犬病予防接種の啓発について継続的に行い、福井県獣医師会や動物病院との連携を密にし、個別接種の利便性を広く周知し、接種率向上に努めることで、狂犬病の発生の予防に繋がっていると評価できる。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			接種率の向上及び登録数を正確に把握するため、新たな施策を検討します。
成果と改善点	広報や通知により、未接種者に対し接種を呼びかけました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	平成29年度よりスタートさせた犬のメモリアル給付金事業により、狂犬病予防注射の接種率向上及び死亡届の促進を図ります。また、狂犬病予防注射の未接種者に対しては、予防接種を催告し、接種率向上を目指します。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	03	環境衛生費
大	事業	101	動物保護・愛護事業	中	事業	02	動物保護・愛護事業		
小	事業	02	動物保護・愛護事業						他 事業

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生	部局	環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	動物の愛護及び管理に関する法律			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】	
捨て猫や行き場のない猫を保護し、譲渡会の開催や里親募集の実施及び相談事業を推進し、野良猫の増加や地域住民に対する迷惑の防止を図る。人と動物の共存共栄を目指した地域のコミュニケーション作りの推進を図る。	
【事業の概要】	
○需用費	354 千円
消耗品費（猫砂、ベットシーツ購入費他）	177 千円
印刷製本費（譲渡会啓発チラシ印刷費他）	177 千円
○役務費	10 千円
健康診断支援事務手数料	
○備品購入費	147 千円
事務用備品購入費（猫捕獲器、ゲージ他）	
○補助金	501 千円
野良猫の不妊手術事業補助金	388 千円
（メス 39件 オス 29件）	
飼い主のいない猫の健康診断支援事業補助金	113 千円
（メス 6件 オス 11件）	

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	1,012		1,012
	人件費	2,012	0	2,012
	総事業費	3,024	0	3,024
人員	正職員	0.30 人		0.30 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.30 人	0.00 人	0.30 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0
	その他特定財源	1,012		1,012
	一般財源	2,012	0	2,012

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	譲渡会開催数	回	目標	4				
			実績		3			
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標	譲渡数	匹	目標	20				
			実績		17			
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
		達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
指標の説明								
指標に基づく評価	野良猫の不妊手術や健康診断の支援を実施することにより、野良猫の増加防止に努めた。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			譲渡会の開催や里親募集などの実施や相談事業を推進し、野良猫の増加や地域住民に対する迷惑の防止に努めた。今後は、人と動物の共存共栄を目指した地域のコミュニケーションの仕組みづくりが必要であると考えます。
成果と改善点	譲渡会の開催や野良猫の不妊手術補助金及び健康診断事業補助金により、野良猫の増加防止に努めました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	野良猫の不妊手術や健康診断の支援を継続して実施することにより、野良猫の増加防止に努めていきます。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費
大事業	001	公害対策事業	中事業	01	公害対策事業	
小事業						他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-3	公害対策の推進		環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	環境関係諸法令			
根拠例規	有	坂井市環境基本条例、坂井市環境保全条例			
関連計画・マニュアル	有	坂井市環境基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 大気や水質等の調査分析、協定事業所等との協定項目を定期的、継続的に調査分析することにより、公害の未然防止と市民の健康で安全かつ快適な生活を確保する。

【事業の概要】

- 需用費 104 千円
 - ・書籍購入費 21 千円
 - ・光熱水費（大気汚染観測局電気料） 83 千円
- 役務費 74 千円
 - ・通信運搬費（大気汚染観測局電話料） 71 千円
 - ・火災保険料（大気汚染観測局建物災害共済金） 3 千円
- 委託料 6,637 千円
 - ・大気汚染監視テレメーターシステム保守委託料 818 千円
 - ・大気汚染測定機保守委託料 1,701 千円
 - ・公害対策分析委託料 4,118 千円
 （河川水質、工場排水、地下水、ダイオキシン、悪臭特定施設、自動車騒音、土壌、水質）
- 備品購入費 1,815 千円
 - ・大気汚染監視システム備品購入費 1,815 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

（単位：千円）

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	8,630	6,158	5,292	2,472
	人件費	4,494	4,345	4,905	149
	総事業費	13,124	10,503	10,197	2,621
人員	正職員	0.67 人	0.65 人	0.70 人	0.02 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.67 人	0.65 人	0.70 人	0.02 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	2,243	1,076	1,073	1,167
	一般財源	10,881	9,427	9,124	1,454

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	河川水質の環境保全項目達成率	%	目標	100	100	100	100	100
			実績		100	100	100	98
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	98.1
指標	指標の説明 河川の水質調査における環境保全項目の達成率							
指標	苦情調整件数	件	目標	0	0	0	0	0
			実績		78	97	79	53
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明 環境推進課に連絡があった苦情件数							
指標	規制値の超過企業数		目標	0	0	0	0	0
			実績		3	4	2	4
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明 立入調査した企業の内、規制値の超過企業数							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	継続的に調査分析することにより、公害の未然防止及び自然環境・生活環境の保全を図りました。また、規制値を超過している企業に対し改善の指導を行い、改善されました。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない		
<p>公害を未然に防ぐために、現状の調査分析を継続的に行う必要があります。規制値を超過している企業が毎年出てくることから、監視の意味も含め、調査分析および改善の指導は、今後も必要と考えます。苦情に関しては、法や市の条例で規制できないものも多いため、根本的な解決が難しい場合が多いですが、生活環境の保全を確保するために、苦情者、原因者から話をよく聞き、調整にあたる必要があります。</p>			
成果と改善点	<p>大気、ばい煙、工場排水、河川水、地下水、悪臭等の立入分析調査を通じて、郊外の未然防止及び自然環境・生活環境の保全を図りました。</p>		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	<p>環境、生活環境の保全を図るために、調査分析を実施していきます。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	環境保全事業
大事業	051	環境保全事業			中事業	01	環境保全事務事業		
小事業									他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり		所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生			環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ					
	施策					
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	環境基本法				
根拠例規	有	坂井市環境基本条例				
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 環境保全に関する協議団体へ加入することにより、県民が一体となった環境保全に関する運動の実践を図る。また、環境審議会においては、環境基本計画、環境の保全に関する基本的な事項について審議する。

【事業の概要】

- 報償費（環境審議会委員報酬） 84 千円
- 需用費（食糧費） 1 千円
- 負担金（環境ふくい推進協議会負担金） 100 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	185	100	180	85
	人件費	3,421	2,540	4,765	881
	総事業費	3,606	2,640	4,945	966
人員	正職員	0.51 人	0.38 人	0.68 人	0.13 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.51 人	0.38 人	0.68 人	0.13 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	3,606	2,640	4,945	966

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	市町環境連携事業	申請数	目標	1	1	1	1
			実績		1	1	1	1
			達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明		環境ふくい推進協議会が補助している事業への申請						
指標	独自指標	環境審議会開催回数	回数	目標	2	2	2	2
			実績		1	0	1	2
			達成率(%)	0.0	50.0	0.0	50.0	100.0
指標の説明		環境審議会の開催回数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価		環境ふくい推進協議会の補助金を利用し、九頭竜川河口部清掃を行いました。						

6.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題			市の環境に関する現状や問題点を洗い出し、環境審議会で審議する案件がないか内部で検討する必要があります。
成果と改善点	環境ふくい推進協議会が開催するセミナーへ出席したほか、同会の助成事業を活用し、九頭竜川河口部清掃を行いました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	坂井市への海洋プラスチックごみ問題について環境基本計画の改訂にあわせ環境審議会等で審議していきます。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 環境保全事業
大	事業	101 環境基本計画推進事業	中	事業	01 環境基本計画推進事務事業	
小	事業					他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	環境基本法			
根拠例規	有	坂井市環境基本条例			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
環境に対する意識の向上や環境保全の活動を広げるため、環境保全団体への支援やイベント、環境教育講座等を実施し、環境基本計画の推進を図る。

【事業の概要】

- 需用費 100 千円
 - ・消耗品費（節電コンテスト参加者用景品、こどもエコひろば用材料費） 36 千円
 - ・食糧費（こどもエコひろばスタッフ弁当、お茶） 10 千円
 - ・印刷製本費（こどもエコひろばチラシ） 54 千円
- 委託料 700 千円
 - ・環境基本計画推進企画運営委託 700 千円
（委託先：エコネイチャー・さかい）
- 使用料及び賃借料 158 千円
 - ・車両借上料（リサイクル施設見学バス借上料） 154 千円
 - ・入場料（リサイクル施設見学ツアー入場料） 4 千円
- 補助金 700 千円
エコアクションさかい活動事業補助金

活動団体名	種類	年目	補助額
えろもんのふけを守る会	一般	3年目	10万円
福井グッド・トイ委員会さかい	一般	3年目	10万円
環境シティズンシップ教育の会	一般	3年目	10万円
Greenz' eco	一般	2年目	20万円
さかい環境を考える会	一般	2年目	20万円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	1,658	2,629	3,509	△ 971
	人件費	4,494	4,145	5,255	350
	総事業費	6,152	6,774	8,764	△ 621
人員	正職員	0.67 人	0.62 人	0.75 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.67 人	0.62 人	0.75 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	1,900	0
	一般財源	6,152	6,774	6,864	△ 621

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	成人向け環境講座の開催数	回	目標	3	3	3	3	3
			実績		2	3	3	4
		達成率(%)	0.0	66.7	100.0	100.0	133.3	
指標の説明		成人向け環境講座の開催数						
指標	子ども向け環境出前講座の開催数	回	目標	0	4	4	4	4
			実績		4	4	4	8
		達成率(%)	0.0	100.0	100.0	100.0	200.0	
指標の説明		子供向け環境出前講座の開催数						
指標	不法投棄・野外焼却防止のパトロール実施数	回	目標	8	8	8	8	8
			実績		4	6	6	6
		達成率(%)	0.0	50.0	75.0	75.0	75.0	
指標の説明		不法投棄・野外焼却防止のためのパトロール実施数						
指標	エコアクションさかい活動団体申請数	件	目標	3	3	3	3	0
			実績		0	3	4	0
		達成率(%)	0.0	0.0	100.0	133.3	0.0	
指標の説明		エコアクションさかいは活動申請団体数（新規団体）						
指標に基づく評価		環境講座の開催数は、概ね達成されていますが、さらに講座内容を充実させるなど、目標以上の成果を上げられるよう取り組んでいきます。						

6.事業に対する評価

<p>現状と課題</p>	<p>有効性に課題</p>			<p>環境基本計画の推進には、環境モラルの向上や環境に対する意識の向上が必要ですが、行政だけでは行き届かない部分があるため、環境団体の活動を通して市民に広がるような仕組みづくりが必要であると考えます。</p>
<p>成果と改善点</p>	<p>こどもエコひろばを実施し、リサイクル工作などを通じ3Rを学んでもらった。</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

<p>事業の方向性</p>	<p>継続</p>	
<p>方向性の理由</p>	<p>環境基本計画の推進のため、市民から市民への環境に関する取組を広める仕組みを構築していきます。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	環境保全事業
大事業	101	環境基本計画推進事業			中事業	06	地球温暖化防止対策事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	エネルギーの使用の合理化に関する法律			
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	省エネルギー管理中長期計画、坂井市環境基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 市が率先して地球温暖化防止に取り組むとともに、市内事業所及び市民に広く地球温暖化に関する情報提供とその対策について周知、啓発していくことで市内から排出される温室効果ガス排出量の削減を図る。

【事業の概要】

- 報償費（環境標語コンテスト、節電コンテスト景品） 20 千円
- 旅費（エネルギー管理講習） 9 千円
- 委託料（木質バイオマスエネルギー導入可能性調査） 9,900 千円
- 負担金（エネルギー管理講習） 17 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト (単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	9,946	15	403	9,931
	人件費	4,696	3,343	5,255	1,353
	総事業費	14,642	3,358	5,658	11,284
人員	正職員	0.70 人	0.50 人	0.75 人	0.20 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.70 人	0.50 人	0.75 人	0.20 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	9,900	0	0	9,900
	一般財源	4,742	3,358	5,658	1,384

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	市長部局エネルギー消費量削減	%	目標	-1	-1	-1	-1	-1
			実績		-4.2	-0.5	2.3	1.9
			達成率(%)	0.0	420.0	50.0	△ 230.0	△ 190.0
指標	指標の説明 市長部局の施設におけるエネルギー消費量の対前年比							
指標	節電コンテストの参加割合	%	目標		70	70	70	70
			実績		75	28	20	0
			達成率(%)	0.0	107.1	40.0	28.6	0.0
指標	指標の説明 節電コンテスト対象者（講座受講者）における参加割合							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標	指標の説明							
指標に基づく評価	市長部局の施設のエネルギー消費量が横ばい傾向にあるため、引き続き省エネルギーの意識づけを行います。 各小学校に地球温暖化防止の講座後に節電コンテストの参加を依頼していますが、多くの人に参加してもらえよう学校と連携を密にし、参加を促します。							

6.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題			<p>市長部局の施設については、エネルギー消費量が減少を示していますが自然現象に起因する可能性が高く増加に移行するおそれがあります。現状を市長部局に周知し、エネルギー消費量を抑えるための対策を各施設で取り組んでもらう必要があります。また、市民に対しても温暖化防止の必要性をさらに訴えていき、省エネルギーの取り組みを呼びかける必要があります。</p>
成果と改善点	<p>市長部局の各施設のエネルギー使用量について四半期ごとに調査を行い、各施設担当課および各施設に対し使用量について再度確認してもらうとともに省エネルギーについて意識付けを行いました。</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	<p>エネルギー消費量が継続的に増加している市長部局の施設に対して外部の機関を利用しエネルギーの使用実態を把握し、エネルギー削減に向けた取り組みを検討していきます。</p>	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	01	保健衛生費	目	04	環境保全事業
大	事業	101	環境基本計画推進事業	中	事業	11	環境美化事業		
小	事業	01	環境美化事業	03	海岸漂着物地域対策推進事業	他	事業		

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市環境基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 自然豊かな環境を将来に引き継いでいくため、自治会やボランティア団体、事業者及び関係機関と情報を共有し連携しながら、身近な環境保全への取り組みや美化意識の醸成を図る。

【事業の概要】

◆環境美化事業	8,464 千円
○報償費	7,400 千円
・地域美化協力金	
○需用費	164 千円
・消耗品費（清掃活動用ごみ袋）	
○委託料	900 千円
・一般廃棄物収集運搬委託料	544 千円
クリーンキャンペーン	
（燃えるゴミ 5,256袋、燃やせないゴミ1,066袋、収集車16台分）	
河川クリーンキャンペーン	
（燃えるゴミ 1,076袋、燃やせないゴミ 451袋、収集車8台分）	
・不法投棄廃棄物処理委託料（廃タイヤ、廃家電等）	356 千円
◆海岸漂着物地域対策推進事業	499 千円
○需用費	149 千円
・消耗品費（ゴミ袋、軍手等）	134 千円
・食糧費（清掃活動参加者お茶）	15 千円
○委託料	350 千円
・一般廃棄物収集運搬委託料	63 千円
・不法投棄廃棄物処理委託料（処理困難物）	287 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	8,963	8,739	8,362	224
	人件費	6,440	6,083	4,414	356
	総事業費	15,403	14,822	12,776	580
人員	正職員	0.96 人	0.91 人	0.63 人	0.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.96 人	0.91 人	0.63 人	0.05 人
財源内訳	国県支出金	178	375	176	△ 197
	その他特定財源	50	0	50	50
	一般財源	15,175	14,447	12,550	727

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	河川クリーンキャンペーン参加者数	人	目標	3,000	3,000	2,000	2,000	2,000
			実績		1,703	1,970	1,367	1,940
			達成率(%)	0.0	56.8	98.5	68.4	97.0
指標の説明		河川クリーンキャンペーン参加者数						
指標	クリーンキャンペーン参加者数	人	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績		9,311	9,526	8,927	9,031
			達成率(%)	0.0	93.1	95.3	89.3	90.3
指標の説明		クリーンキャンペーン参加者数						
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	令和元年度のクリーンキャンペーンおよび河川クリーンキャンペーンでは前年度よりも参加者数は減となりましたが、多くの市民の協力を得ることができました。今後も多くの市民に参加してもらえるよう周知の徹底に努めます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題		
クリーンキャンペーン等で、市民が公共地を清掃することにより環境美化を保っていますが、ごみの発生を抑えるために、ポイ捨て防止や不法投棄の防止の啓発が必要と考えます。			
成果と改善点	6月のクリーンキャンペーンや3月の河川クリーンキャンペーンについて、市内一斉での実施と参加の呼びかけを今後も継続して行うことで、市民の環境美化の意識を保つほか、地域美化保全の意識の向上を図りました。		

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	地区の社会奉仕活動などを継続して支援していくため地域美化協力を継続していきます。今後も継続して市民ボランティア等と協力した漂着ごみ処理に取り組んでいきます。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	01	塵芥処理費
大	事業	001	一般廃棄物収集処理事業	中	事業	01	一般廃棄物収集処理事業		
小	事業	01	一般廃棄物収集処理事業						他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-2	循環型社会の構築		環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	坂井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
関連計画・マニュアル	有	坂井市一般廃棄物処理基本計画			

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 一般廃棄物の適正な分別、収集、運搬、処分等により、公衆衛生の向上を図るとともに、リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用、再資源化）の3Rを推進し、循環型社会の構築を図る。

【事業の概要】

○報償費（廃棄物減量等推進審議会委員謝礼）	154 千円
○旅費	84 千円
○需用費	1,714 千円
消耗品費（不法投棄防止看板購入費他）	299 千円
印刷製本費等（ごみカレンダー印刷費他）	1,415 千円
○役務費	13,834 千円
通信運搬費（アンケート郵便料）	118 千円
ごみ袋等取扱い手数料他	13,716 千円
○委託料	306,284 千円
計画策定業務委託料	1,293 千円
一般廃棄物収集運搬委託料	245,266 千円
ごみ袋作成委託料	44,855 千円
大型廃品特別収集委託料	10,182 千円
ごみ袋保管配送委託料他	4,688 千円
○使用料及び賃借料（有料道路通行料）	7 千円
○負担金及び補助金	620,707 千円
清掃センター負担金	608,513 千円
資源（古紙類）回収奨励金	8,958 千円
ごみステーション設置補助金	2,655 千円
魚腸骨収集運搬事業費補助金	581 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

（単位：千円）

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト	事業費	942,784	935,922	901,436	6,862
	人件費	12,276	11,365	15,065	911
	総事業費	955,060	947,287	916,501	7,773
人員	正職員	1.83 人	1.70 人	2.15 人	0.13 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.83 人	1.70 人	2.15 人	0.13 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	167,903	163,243	160,876	4,660
	一般財源	787,157	784,044	755,625	3,113

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	市民1人1日あたりごみ排出量	g	目標	831	808	808	808	808
			実績		881	875	869	881
			達成率(%)	0.0	109.0	108.2	107.5	109.0
指標の説明								
指標	リサイクル率	%	目標	20	27	27	27	27
			実績		11	11	12	12
			達成率(%)	0.0	40.7	40.7	43.3	45.6
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	ごみ排出量及びリサイクル率について、前年度と比較して改善は見られませんでした。次年度は目標値の見直しを行い、それらに向けて引き続きごみ減量、リサイクル率向上に取り組んでいきます。							

6.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題			事業所に対して自己責任による資源ごみの分別を促すことにより、ごみの減量やリサイクル率の向上を図ることは可能です。特別集積地における事業所の取り扱いについて、民間収集業者との相対契約による収集に切り替えていくことでコスト削減することは可能です。
成果と改善点	ごみ減量およびリサイクル推進のため、雑がみや小型家電類の分別回収を実施し、資源化を図りました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	改定した一般廃棄物処理基本計画に基づき、今後のごみ減量施策の検討・実施および収集体制の良好な維持に取り組んでいきます。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	し尿処理費
大	事業	001	し尿処理事業	中	事業	01	坂井地区広域連合事業（環境衛生）		
小	事業	01	坂井地区広域連合事業（環境衛生）						他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-2	循環型社会の構築		環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	さかいクリーンセンターの設置及び管理に関する条例・同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】

し尿及び浄化槽汚泥の適正な収集、運搬、処分等の処理を行う。

【事業の概要】

汚泥再生処理施設さかいクリーンセンター等の運営経費、周辺地域整備助成に対する坂井市の負担金。

○負担金 63,089 千円

坂井地区広域連合負担金（環境衛生）

し尿及び浄化槽汚泥処理に要する経費（構成市負担金97,060） 単位：千円			
均等割（10%分）	10,103	負担割合 0.5000	5,052
投入量割（90%分）	90,927	負担割合 0.6672※	60,666
合計	101,030	※H29投入量で計算	65,718

※前年度精算返還額△3,970千円（坂井市負担分△2,629千円）

事業内容

【経費】 98,970 千円

- ・清掃総務費 4,520 千円
- ・し尿処理費 94,449 千円
- ・基金積立金 1 千円

【財源】 106,123 千円

- ・構成市負担金 97,060 千円
- ・施設使用料 2,342 千円
- ・土地賃借料 2,536 千円
- ・物品売払収入他 4,185 千円

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略記載事項	
-----------	--

4.事業のコスト

（単位：千円）

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比	
コスト	事業費	63,089	69,672	63,319	△ 6,583
	人件費	1,342	2,006	2,803	△ 664
	総事業費	64,431	71,678	66,122	△ 7,247
人員	正職員	0.20 人	0.30 人	0.40 人	△ 0.10 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.30 人	0.40 人	△ 0.10 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	2,359	2,267	1,998	92
	一般財源	62,072	69,411	64,124	△ 7,339

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標	独自指標	し尿処理量	目標	7,000	7,000	9,000	9,000	9,000
			実績		7,496	7,342	8,177	8,779
			達成率(%)	0.0	107.1	81.6	90.9	97.5
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	設計・管理の段階から一貫した方式が採用された施設であり、施設の維持管理や運営についても特別目的会社（SPC）が行っています。また、広域連合という広域的行政がいろいろな業務と一緒に役割を担うことにより、人的・経費的に効率化が図られています。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			
施設の維持管理や運営は特別目的会社（SPC）が行うことにより、モニタリング機能が強化されています。				
成果と改善点	坂井地区広域連合が行う事業運営について、運営負担金を拠出することで、適正な業務運営と施設の維持管理が図られました。			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	公共下水道の普及により、水洗化率が進んでいますが、未普及地区も残存しており、公共下水道の受益を受けられない市民及び地域の環境や生態系の影響、公衆衛生上からも必須の業務であるため継続していきます。	

令和元年度事業分 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04	衛生費	項	02	清掃費	目	02	し尿処理費
大	事業	001	し尿処理事業	中	事業	06	浄化槽設置整備補助事業		
小	事業	01	浄化槽設置整備補助事業						他 事業

1.事業の位置付け

旧総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-2	循環型社会の構築		環境推進課
旧総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法			
根拠例規	有	坂井市下水道区域外における合併浄化槽設置整備事業補助金			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 公共下水道事業計画区域の区域外において、合併処理浄化槽を設置に要する経費の一部を支援することにより、生活環境の保全及び公共衛生の向上を図ります。

【事業の概要】

○補助金 〇千円
 R元 実績なし

3.旧総合戦略記載事項

旧総合戦略 記載事項	
---------------	--

4.事業のコスト

(単位：千円)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	元・30年度比
コスト				
事業費	0	0	0	0
人件費	470	869	1,051	△ 399
総事業費	470	869	1,051	△ 399
人員				
正職員	0.07 人	0.13 人	0.15 人	△ 0.06 人
臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人員計	0.07 人	0.13 人	0.15 人	△ 0.06 人
財源内訳				
国県支出金	0	0	0	0
その他特定財源	0	0	0	0
一般財源	470	869	1,051	△ 399

5. 事業の目標値と実績等

評価指標		単位	年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
指標 独自指標	合併浄化槽の設置補助件数の実績	件	目標	1	1	1	1	1
			実績		0	0	0	2
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	200.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	補助金により設置者の負担が軽減され、生活排水処理が促進されることは、生活環境の保全に結びついています。							

6.事業に対する評価

現状と課題	課題はない			<p>少子・高齢化は、長期に渡ることが確定的であり、人口の急激な減少は避けられません。このような現状では、建設、維持管理に多額の費用を要する大規模な処理施設が必要な集合処理より、個別に設置、廃止することが容易な合併浄化槽設置の推進が必要です。</p>
成果と改善点	<p>令和元年度については実績がありませんでした。</p>			

7.令和2年度から令和6年度間（第2次総合計画前期期間）の方向性

事業の方向性	継続	
方向性の理由	<p>公共下水道事業計画区域外の住民の負担と区域内の住民の負担との公平性を図るため、また単独浄化槽および汲み取りからの転換を促すため継続していきます。</p>	